

ならない。此點から考へると、我が國の法律も政治もまたよほど改良の餘地の存して居るといふ事

は、夙に識者の口にし筆にする所である。

(文責在記者)

## 子供が物を口へ入れる癖

宮 本 仲

子供には、口の中へ物を入れる癖のあるものです。

指をくわへる、おもちゃをしやぶる、袂をかじる、これは子供の天性で、母の乳首をはなれた口の中がさびしいので、いろ／＼の物を入れて居る事が其精神を慰めるのでせう。

しかし、これは大層危険な事です。此の何でもかまはず甜める事はいろ／＼の病氣の原因になりやすい、甜める物品に附着して居る微菌を吞み込むので咽喉の病氣にかゝつたり、猩紅熱やデフテリアや種々の傳染病にかゝつたりする。それで此の癖は嚴重に矯正しなければなりません、育て

やうによつては此の癖をつけずにすまず事が出来る、母か乳母がついて居て嚴重に注意すれば、口の中へ物を入れぬやうに育てる事が出来ます。

たとへば、乳をのませる、飲み終ると同時に乳首をはなしてしまふやうにする。口もとがさびしくて指をなめたりする時は、指に、害ならぬ苦い薬をつけるとか、はつかをつけるとかして之を禁制すると云ふやうにするのです。かう云ふ風に育てた結果宅の子供は幸に、一人も口の中へ物を入れるものはありませんでした。

幼稚園などで土いぢりをして、土の中にある腐敗微菌に原因した大腸かたるなどを起す事があ

る。或はおもちやについて居た微菌をのみ込んで扁頭線がはれて化膿したりする事もあります。

それで人間最初の教育の行はれる家庭に於て、両親が云ふてもきかせ、實行もさせるやうにしなければならぬのはもとよりですが、幼稚園あたりでも先生がよく注意して、口の中へ物を入れる事は厳禁しなければなりません。

口の中へ物を入れる癖があると、前に述べたやうな弊害があるばかりでなく、過つて之を嚥下するといふ事が出来ます。甚しい例を云ふと碁石のむ、おもちやの鈴をのむ、五厘、一錢の銅貨をのみ込む、安全ピンをのみ込んだのもありました。またある子供は豌豆をおもちやにして居て五つ六つのみ込んだ。そしてその豌豆が、折ふしその子供の患つて居る脱腸の中へ這入つて行つて、だんく膨脹したので、其脱腸はどうしてももとの場所におさまらない。仕方がないから手術をして見ると、その中から大きくふくれて既に芽をふいた

豌豆が數個出て來た事があります。胃の中で消化せられなかつた豆が腸の中に来て、そこにある適當の濕氣と溫度と肥料の爲めに遂に芽をふいてもやしになつて居るのです。木の實をたべると腹の中に木が生えるなど云ふのも、からうそでないのかも知れない。

たゞに微菌の嚥下のみならず、かうした危険が伴ふのであるから、物を口の中へ入れる習慣は絶對につけぬやうにしなければなりません。

萬一過つて物品を嚥下した場合の處置も錯誤のないやうにしなければなりません。なま療法はやらぬやうにしなければなりません。たとへば釘をのんだり安全ピンをのんだりした場合、遽て、指を咽喉につ、込んだり、吐劑をかけたりにして之を吐出せしめやうとあせるなどは非常に危険なのであります。嘔吐せしめるのは胃を絞る事になるのであるから、さきの尖つたものなどは、その際胃を突き破るやうな事になります。それと同時に下劑を

かけてはならない。反對になるべく液體の食物を避けて、薩摩芋でも、じやが芋でも野菜類でもなるべく大便に多くなるものを食べさせるやうにするのがよい。其理由は大便が腸の中を通る時、固いものほど中に包まれる性質をもつて居るのであるから、のみ込まれた危険物は便の中にくるまれて外に押し出される便宜になるものです。此際牛乳なども禁じなければいけません。そしてよく大便をしらべて居る事が大切です。第一回の便に出でしまつて居るのに氣が付かないで、いつまでもおさつなどばかり食べさせては罪になります。

口に物を入れる癖をつけておくとかういふ危険を惹起しますから、必ず此の悪癖をつけぬやうに注意の上にも注意しなくてはなりません。しかし此の癖を矯正するのに、子供に恐怖心を起さすやうな事をやつてはよろしくない。私の知つて居る大變神經質の子供があつた。そして此の子は指を

なめる癖をもつて居た。此子の通つて居る幼稚園の先生が、其の癖をなほさうと思ふて、「そんな指をなめると死んでしまいます」といつて叱つた。それを聞いて以來子供は非常にふさぎ込んで居たが、間もなく近所から葬式が出た。之を見た子供は死ぬるといふ事は土の中へは入つてしまふ事だと考へ、自分は指をなめたからそしてその外におもてやも甜たし、御飯を食べる時茶碗を甜めたから死んでしまふのだくと云つてぼろ／＼涙をこぼしたり、非常に神經が高ぶつて困つた事があります。ですから注意をする場合に氣をつけて、えらい人は指なんかくわへないとか、お行儀のよい人は缺なんかかちるものでないとか、なるべく教育にもなり奨勵にもなり訓戒にもなるやうに説諭して此癖を矯正するやうにしたいものであります。

(文責記者)